

民話絵本制作

石川県 小松市立空とこども絵本館

基本データ

所在地	石川県小松市小馬出町 10番地3
職員数	7人
うち司書数	1人
蔵書数	14,919冊
利用登録者数	6,028人
年間貸出冊数	36,304冊
	(児童用図書貸出数 36,024冊)

テーマ・活動のねらい等

【テーマ】地域の課題解決、まちづくり

【活動のねらい】

- 古くから伝わる民話を、次世代につなげる。
- 土地の生活や文化の表れである方言を、正しい形で記録し、後世に伝える。
- 民話採取などを地道に行ってきた市民グループの活動を、広く紹介する。

取組・活動の概要

- 小松に伝わる民話を、方言の形で文章化する。
- 就学前の児童も楽しめる絵本として制作、発刊する。
- 開館5周年記念事業として、2011年から制作を開始する。
- 1年1作品、合計5作の絵本を発刊する。

取組・活動の工夫や特徴

- 市民グループが採取した物語を、絵本に適した方言の文章に置き換える。
- 取組を進めるにあたっては、地方の民話や伝説を、語りの形で伝えるグループと連携して進めることが大切と考えている。
- 絵に関しては地元の画家に依頼、土地の雰囲気や伝わるものにする。
- 時代考証等については、郷土史研究家に相談した上で制作する。
- 方言を知らない地方の読者も内容を理解できるよう、表現を工夫する。

取組・活動の成果や今後の展望

- 市内の幼稚園や保育施設、小中学校に配布した結果、民話に関心を持つ子どもたちが、少しずつではあるが増えてきている。
- 子どもたちが親しみをもち「紙芝居」の形で制作するのも面白いのではないかと考える。
- 他県からの問い合わせや発注も、徐々に増える傾向にある。